

市町別生乳受託量の進捗状況(10月)

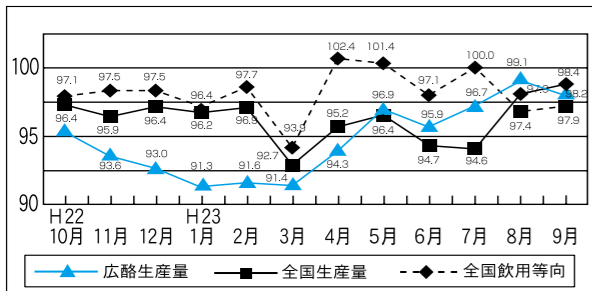
(単位:トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	23年度累計	前年比(累計)
庄原市	957.8	20.8%	97.2%	6,860.6	94.6%
三次市	918.8	20.0%	100.9%	6,491.9	96.1%
北広島町	524.4	11.4%	94.0%	3,725.5	93.9%
世羅町	486.4	10.6%	113.2%	3,348.9	115.3%
安芸高田市	395.5	8.6%	93.7%	2,996.7	99.0%
東広島市	315.9	6.9%	94.7%	2,205.1	93.8%
府中市	261.3	5.7%	98.8%	1,905.4	95.8%
広島市	200.4	4.4%	102.4%	1,399.0	96.7%
廿日市市	141.2	3.1%	93.6%	1,073.8	98.3%
福山市	124.6	2.7%	90.8%	921.3	89.3%
三原市	110.6	2.4%	94.5%	791.6	93.9%
神石高原町	107.2	2.3%	83.9%	834.1	90.7%
呉市	54.8	1.2%	102.9%	392.7	100.9%
合計	4,598.8	100.0%	98.2%	32,946.8	97.0%

生乳受託実績(10月)

地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合戸数(戸)	49	13	56	51	169
生乳出荷量(ト)	1,637.2	446.8	1,185.3	1,329.6	4,598.8
前年同月対比(%)	97.6%	96.3%	94.9%	102.7%	98.2%
前月対比(%)	103.4%	104.2%	102.3%	105.3%	103.7%
生乳出荷累計(ト)	11,693.1	3,168.4	8,624.5	9,460.8	32,946.8
広酪構成比(%)	35.5%	9.6%	26.2%	28.7%	100.0%

生乳需給の前年比推移(9月) (単位:%)



市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(9月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(ト)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	43,560	933.1	25.9%	46.7
2	三次市	40,441	907.5	24.1%	44.6
3	北広島町	18,792	513.5	11.2%	36.6
4	安芸高田市	17,444	390.2	10.4%	44.7
5	府中市	15,852	249.8	9.4%	63.5
6	東広島市	7,184	376.2	4.3%	19.1
7	世羅町	5,894	461.8	3.5%	12.8
8	福山市	5,580	118.8	3.3%	47.0
9	神石高原町	3,943	103.0	2.3%	38.3
10	三原市	3,342	71.9	2.0%	46.5
11	廿日市市	3,342	64.2	2.0%	52.1
12	広島市	2,370	190.7	1.4%	12.4
13	呉市	261	52.7	0.2%	5.0
合計		168,005	4,433.4	100.0%	33.6

酪農ニュース

家畜市場 価格の推移

【10月】

▼子牛価格(三次市場)

(単位:円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立頭数	取引率	最高価格	最低価格	平均価格	体重	
スモール	雌	7	4	57.1%	124,950	2,100	51,000	55
	雄	260	245	94.2%	49,350	1,050	18,521	57
計	267	249	93.3%	124,950	1,050	18,959	57	
F1	雌	219	185	84.5%	117,600	4,200	55,679	55
	雄	275	248	90.2%	194,250	2,100	85,351	61
計	494	433	87.7%	194,250	2,100	72,197	58	
ホルス(5才)雌	78	73	93.6%	264,600	47,250	111,179	722	

▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位:円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
十勝	11日	683	397	58.1%	680,400	157,500	473,703
南北海道	15日	115	83	72.2%	556,500	373,800	443,884
釧路	19日	364	197	54.1%	590,100	347,550	454,757
根室	20日	710	513	72.3%	654,150	315,000	479,572
豊富	21日	471	214	45.4%	534,450	320,250	457,074
北見	26日	445	307	69.0%	588,000	245,700	466,361
十勝	27日	608	417	68.6%	556,250	189,000	509,897
合計		3,396	2,128	62.7%	680,400	157,500	469,321

業務報告

(10月分)

31 砂谷おいしい牛乳フェスタ

29 北海道酪産物協会の設立50周年記念式典

28 新年度酪産物関係者説明会

27 フードフェスティバル出展者説明会

26 山陽乳業(株)経営説明会

25 家畜伝染病予防法説明会

24 広島県酪産物検査所 第2回生産委員会

23 西部ミルク会役員会

22 島根ホルスタイン改良同志会25周年祝賀会

21 南信酪農視察受入

20 西部地域酪農団体連絡協議会役員会

19 賀茂地域酪農団体連絡協議会役員会

18 JA広報担当研修会(13日)

17 JA7回理事会

16 家畜防疫対策委員会

15 全国酪農協会基本対策委員会(2日間)

14 全酪連大阪支所事業推進委員会

13 JA中央会理事研修(広島)

12 甲奴郡酪農役員会

11 中酪連会理事研修(尾道)

10 JA中央会理事研修会(三次)

9 千代田酪農協議会役員会

8 ヘルパー調整会議

7 安佐区民実行委員会

6 みのりの祭典

5 TPPから食と農・暮らしと地域を守る広島県集會

4 第87回広島県畜産共進会

3 TPP参加反対全国集會

2 ヘルパーブロック会議

1 西部酪産物検査所運営協議会

家畜防疫対策説明会

消費者協会の研修会

農業近代化資金制度完了検査

牛乳普及協会運営委員会

フードフェスティバル(2日間)

中酪連理事会

全酪連会理事研修会

本別町農協預託事業視察受入

DMIS入力研修会

伝言板 「乳成分・体細胞」依頼検査受付日のお知らせ

(平成23年12月)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
×	○	○	○	○	○	×
11	12	13	14	15	16	17
×	○	○	○	○	○	×
18	19	20	21	22	23	24
×	○	○	○	○	×	×
25	26	27	28	29	30	31
×	○	○	○	○	○	×

(問い合わせ先)
中国生乳販連
三次生乳検査センター
担当(宇谷・朝比奈)
電話 ○八二四一六二一五九二一
FAX ○八二四一六二一九八六六

▼今年もあと余すところ一カ月余となった。本誌一月号の表紙は、広酪役員が「広酪丸」に乗船しTPPの難題を一致団結で乗り切る様子をデザインした。

▼この時期、組合員としてTPP問題への関心度合いは如何ほどであっただろうか。

▼願ひて、広酪はTPP交渉参加の行く末を心配し、総会でも参加反対の特別議決の承認を得た。

▼広酪は、日本酪農政治連盟、JAグループと一体感をもって、TPP参加交渉への反対行動を行った。

▼しかしながら、十一月十二日、野田総理はAPECホルルル会合で米国のバマ大統領にTPP交渉参加を表明した。

▼広酪役員もTPP参加猛烈反対のトレナーを着込み熱く行動したものの、TPP参加交渉の表明に落胆した。

▼これから本格的議論が日本国内で始まり、今後一年以内にTPP内容の骨格が固まるスケジュールである。

▼今後の議論の行方をしっかりと見極めつつ、国民、農畜産業にとっても不利な条件の押しつけ阻止の姿勢を保ち行動することが重要であると考える。

▼TPPが完成すると、人・物・金が国と国の間を自由に往来することになる。防疫検査体制の緩和が進むことも懸念される。

▼この結果、日本国内の固有の在来種が外来種に負けたり、口蹄疫、O157以上の目に見えないウイルスの侵入さえ懸念する。

▼セイタカアワダチ草が今や日本全土に広がった。これが在来種を淘汰駆逐している現実から創造された。

▼BSE発生から十年がたつ。TPP参加表明に時期を同じくして政府は、生

▼後二十カ月齢以下の牛肉に限定している米国内からの輸入を、三十カ月齢以下に広げることの検討を開始した。

▼これが実施されれば、畜産物価格はどうなるかは既に想像できる。

▼世界の総人口が今や七十億人、あと数十年で百億人に達する情勢下において、既に世界の穀物争奪戦が始まっている。

▼国家レベルで日本の食料自給率向上対策を最優先すべきと考える。これら先の日本の将来を生き抜く子供たちの為にも。

▼今や日本国民は、確かな国家的説明・議論せずして兵糧責めにあっていることが判らないのだろうか。・・・?

▼平和だけからそろそろ目を覚ますことも重要では無だろうか。

編集後記

